

平成 29 年度 市の重点目標をお知らせします

問政策財政課政策企画係 ☎⑤1 6710

今年度の市政運営方針に沿って掲げた「平成 29 年度における各部等の重点目標」の中で、最も重要な項目をお知らせします。各部一丸となり、取り組みを進めていきます。

※このページでは、内容を要約して掲載していますが、市ホームページでは、重点目標の達成に向けた具体的な取り組み項目なども掲載していますので、ご覧ください。

重点目標	目標値
行政改革および事務改善を推進します。	行政改革の取り組み、事務の効率化などによる財政効果の創出を図ります。
市役所新庁舎の整備を進めます。	新庁舎建設に係る進行管理および既存庁舎の利活用などについて検討します。

重点目標	目標値
少子高齢化や人口減少対策に取り組めます。	①支援制度を活用した移住者数 30 世帯 70 人 / 年 ②出会い・結婚活動の支援補助件数 6 件
持続可能な公共交通網の形成を目指した、十和田市地域公共交通網形成計画を策定します。	平成 30 年 2 月末までに十和田市地域公共交通網形成計画を策定します。

重点目標	目標値
国民健康保険事業の財政健全化を図ります。	①特定保健指導実施率 40% ②単年度収支の赤字解消に向けた税率を検討します。
時代に合った地域をつくり、地域連携を図りながら、安全・安心な暮らしを守ります。	①新たな地域コミュニティ組織化 2 地区 ②まちづくりに取り組む市民活動団体数 25 団体以上 ③運転免許自主返納者数 135 人以上 ④平成 29 年 6 月中に特定空家等の判断基準を決定します。

重点目標	目標値
高齢者が生きがいを持ち、健康で安心して暮らせる体制づくりを進めます。	①平成 30 年 3 月までに第 7 期介護保険事業計画を策定します。 ②地域包括支援センター委託事業者を決定します。
妊娠期からの切れ目のない相談・支援体制を整え、安心して出産・子育てできる環境づくりを推進します。	①妊婦家庭訪問等実施率 100% ②「ほっとママサロン」の実施回数 年 24 回 ③平成 29 年 10 月に子育て情報配信システムの運用を開始します。

重点目標	目標値
青年就農者の確保を図り、農村地域の活性化を図ります。	①青年就農者数 3 人 ②移住・定住就農者数 3 組
とわだ産品を活用した地域内連携による 6 次産業化を促進します。	①認定事業者数 1 事業者 ②農作物販売額 前年度比 18% 増 ③物産展・商談会出展事業者数 92 事業者

重点目標	目標値
多彩な地域資源を活かした観光振興の推進により地域の活性化を図ります。	市内年間宿泊施設利用者数 30 万人
商工業の振興を通じ、経済の活性化を図ることによって雇用情勢の向上に努めます。	有効求人倍率（十和田管内） 1.18

重点目標	目標値
道路の防災・安全対策を推進します。	①橋梁 59 橋の点検を実施します。 ②交差点 2 力所の改良工事を実施します。
安全・安心な生活環境の確保に向け、公共施設における樹木の適正な管理に努めます。	①文化センター北側の高木の剪定を実施します。 ②保全地区 7 号の高木の剪定を実施します。 ③歩行者の支障となっている街路樹の撤去を実施します。

重点目標	目標値
施設管理の一元化による水道水の安全な供給を目指し、すべての簡易水道と上水道の統合整備を進めます。	平成 30 年 3 月末までに焼山地区統合簡易水道事業を完了します。
快適な住環境の整備と湖や河川など公共用水域の水質保全に向け、下水道施設の整備を進めます。	①汚泥濃縮施設の詳細設計完了 ②小型浄化槽設置 30 基 ③水洗化率 87.1%（平成 30 年 3 月末）

重点目標	目標値
医業収益の向上及びコストの削減を図り、病院事業の経営安定化を図ります。	単年度収支において現金ベースでの黒字の確保を目指します。

重点目標	目標値
次代を担う人材の育成に向けて、地域との連携を重視しながら、市内小中学校の教育活動の充実を図ります。	アンケート調査において、「自校の特色ある教育活動等を通じて、夢・希望・志の実現を意識した学校生活を送っている。」と回答した児童生徒の割合 90%以上
市民の学習環境づくり、地域に根ざした多彩な文化、芸術、スポーツ活動の推進を通じて、活力ある人材の育成を図ります。	社会教育事業・スポーツ活動への参加者数 12 万 4,000 人を目指します。

重点目標	目標値
遊休農地の発生防止と再生可能な農地の有効利用を促します。	遊休農地解消面積 4.3ha
農業の担い手確保のための制度等について、周知・啓発及び支援を行います。	①農業者年金新規加入者数 7 人 ②体験交流会等の参加者数 男性 15 人、女性 15 人